

元三溪園園長石井利夫氏に聞く

講師：石井利夫、聞き手：藤嶋会員



左・藤嶋会員、右・石井利夫氏

石井利夫氏は2002年から2006年まで三溪園の園長を務めました。横浜市民ギャラリーに係長として勤務していた1970年代には、神奈川県民ホール・ギャラリー勤務だった藤嶋会員と同業でもありました。

1964年に開館した横浜市民ギャラリーは、現代美術展「今日の作家展」や「横浜市こどもの美術展」を手掛けました。ときに攻撃的な、或いは反体制的な表現ともなる現代美術を扱うことは、当時としては思い切ったことでした。初代館長は山田今次(1912~1998)。山田氏は詩人で、作品の「あめ」や「貨車」は国語の教科書に取り上げられています。

三溪園は石井園長のときに、入園料改定とガイドボランティア導入を行いました。

内苑入口にあった関所のような料金所をやめて、外苑400円、内苑200円と分かれていた料金を入園料500円に一本化。古建築がある愛知県の明治村などを参考に、入園者にサービスをするガイドボランティアを発足させました。原三溪市民研究会にもガイドボランティア出身者がたくさんいます。三溪園では頻繁に古建築の修理や庭園の改修があります。建物の維持管理には継続的にお金がかかるので、ファンドを作ってはどうか、と石井元園長は考えているそうです。



会場の様子